

2021年6月15日

2021年度 第1回
学校関係者評価委員会 報告書

作成者(書記)：平賀

日 時	2021年6月15日(火) 13:00~14:30
場 所	札幌ベルエポック美容専門学校 401,402 教室
出席者	<委員> 西村 知子 地域代表 (東北第二町内会 会長) 高橋 友紀 保護者代表 (ヘアメイク科在校生 保護者) 佐藤 明彦 卒業生代表 (株式会社 バリエ札幌店店長) ZOOM 佐藤 直雅 業界代表 (株式会社 B-side 代表) ZOOM 高橋 知宏 高等学校関係者代表 (北海道芸術高校キャンパス長) ZOOM

<学校側参加者>

藤井 英嘉 札幌ベルエポック美容専門学校 学校長 ZOOM
山口 敦 札幌ベルエポック美容専門学校 事務局長
藤本 佳奈 札幌ベルエポック美容専門学校 教務部長
大澤 慶太 札幌ベルエポック美容専門学校 美容師科 学科長
岩淵 太秀 札幌ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク科 学科長
白山 かがり 札幌ベルエポック美容専門学校 トータルビューティ科 学科長
加藤 幸樹 札幌ベルエポック美容専門学校 広報センター センター長
平賀 直子 札幌ベルエポック美容専門学校 学生サービスセンター

学校関係者
評価委員会

■はじめに

1、---藤井学校長より---

職業実践専門課程を受ける際の必須条件

2つの委員会で審議していただくことが認定要件

この会議の内容が非常に重要な学校の資産になっていく

コロナ禍での開催ではあるが忌憚のない意見をお願いしたい

2、---山口事務局長より---

本日の学校関係者評価委員会では令和2年度の活動について評価をいただく

■職業実践専門課程について

○認定日

美容師科 H30.5 認定

ヘアメイク科 R2.4 認定

TB 科 R2.4 認定

○開催について

学校関係者評価委員会 企業、業界卒業生、保護者

近隣、高等学校否様の意見を学校運営に反映 年1開催が必要

○3つの柱

産学連携

FD(教授力向上)

情報公開

○年間の流れ

自己点検、自己評価

10項目

↓

委員会開催

↓

情報公開

■札幌ベル美容について

○学校コンセプト

最新の美容ファッションを札幌で学ぶことができる

○学科イノベーション

業界ニーズ、受験者ニーズの変化に応じ学科イノベーションを行う

適正な学校運営には安定した財務基盤がひつようであり、入学者確保、進級率が重要になる

○教育のフロー
入学前) 自己発見
↓
在学中) 自己変革
↓
卒業後) 自己変革

○3つのポリシー
大学は3つのポリシーを定め、公開することが義務化されている
高校生の進路決定の参考になっている
専門学校は義務化されていないが、札幌ベルエポック美容専門学校はこれを定め、公開している

札幌ベルエポック美容専門学校3つのポリシー

札幌ベルエポック美容専門学校は、滋慶学園の「建学の理念」(実学教育、人間教育、国際教育)と4つの信頼(学生・保護者からの信頼、高等学校からの信頼、業界からの信頼、地域からの信頼)を基盤に美容業界で活躍できる人材を育成するために、3つのポリシーを定めています。

【ディプロマポリシー】

札幌ベルエポック美容専門学校は、滋慶学園の「建学の理念」と「4つの信頼」に基づいて、知識、情報力、感性、創造力、コミュニケーション力ならびに社会人基礎力を身につけた「quality of life のコーディネーター」として美容業界で即戦力として活躍できる学生を社会・業界に送り出します。

学生が卒業までに身に付けるべき資質を以下に示します。

1. 学内外における様々な教育プログラムを通して社会人基礎力が身に付いている。
2. 美容業界をはじめとした様々な分野との連携により、職業人・業界人としての人間力と社会人としての身構え・気構え・心構えが身に付いている。
3. 北海道内における産学連携プログラム、ボランティア活動などにより、北海道の魅力を発信する力が付いている。
4. 仕事をする上で必要な必要な知識・技術・資格取得がなされている。
5. 他者や異文化に対する理解を深め、国際感覚が身に付いている。

【カリキュラムポリシー】

札幌ルエポック美容専門学校は、滋慶学園の「建学の理念」と「4つの信頼」を実現するために、「専門教育」と「キャリア教育」を体系化した職業人教育のカリキュラムを北海道や東京で展開し、美容人材としての幅を広げます。

また、英語教育や海外研修などの国際教育を通じ、国際感覚を身に付けるカリキュラムを提供します。

カリキュラムの柱を以下に示します。

1. 美容業界等と連携したTOPサロンゼミやアシスタントプログラム、実習プログラムを提供します。
2. 入学者一人ひとりの希望に合った職業を目指すために、専攻プログラムを提供します。
3. 国際感覚を養うための、基礎的なグローバル人材育成プログラム(海外研修など)を提供します。
4. 基礎学力向上、技術力向上を図るプログラムを提供します。

【アドミッションポリシー】

滋慶学園の「建学の理念」と札幌ルエポック美容専門学校の「教育目標（開講の目的）」に共感できる入学者を国内、国外問わずに受け入れます。

求める人材像を以下に示します。

1. 目的、目標が明確で、将来、美容のプロとして活躍し、社会に貢献したいと考える人
2. 何事にもチャレンジしようという好奇心と挑戦心がある人
3. 主体性があり、自から学ぼうという意欲がある人
4. 他者を尊重し、思いやりの心がある人
5. 自らすすんで挨拶ができる人

○札幌ベルの教育

自ら考え行動できる自己変革型の学生

社会の変化に伴い職業人教育の変化している

○コロナ禍での学び

コロナ禍により学びを止めないためには遠隔授業が必要

平時でも遠隔授業を導入しハイブリッド授業に移行へ

○アクティブラーニング

何を学ぶのか、どのように学ぶのか大切

受け身ではなく主体的に対話的に深い学びを目指す

○ICT 教育を加速

LSM を導入

ハイブリッドカリキュラム

ペーパーレス化

全学生がタブレット活用

○教育について

教員は教えるから引き出すことが大切

一方的な受け渡し授業ではなく学生と作り上げていくという視点にたつ

3、---教育活動報告---藤本教務部長より

■2020 年度教育結果

○教育総括

退学者 29 名

1 年生 25 名

2 年生 4 名

昨年よりは改善しているがいい数字ではない

サポートアンケートシステムを導入し教育に役立てている

退学理由は目的意識が理由の 6 割を占める

オンラインをやってよかった点、不足点を分析し心を育てていく

①クラス作り②目標設定が鍵になる

教務会議、学内研修の内容を進化させ学生をフォローしていく

○就職総括

コロナ禍で求人が分野によって厳しい状況もあった

学校全体就職者率 80%3 月末

学校全体就職者率 85%5 月末

卒業後もフォローし就職者率を上げている

上昇志向の学生を早期に動かし早期内定を目指す

担任との目標の共有、情報をすぐに流し個別対応の実施

現在の就職活動で大切なのは事前準備とプレゼン力

年内内定 85%を目指す

4、---委員より---

○保護者代表 高橋様

就職率に関して昨年は難しいのは仕方ないと感じた

委員会は昨年から参加させてもらって学校の流れがわかり安心できた

○地域代表 西村様

前年踏襲をしないことは大切だとは思いますが現場が混乱しない加減も必要

座学授業はオンラインで十分だと考えていたがコミュニケーション能力が欠ける
という点を知ることができた

アsproにはどんな学生にも来ていただきたい

○高校関係者代表 高橋先生

高校の現場でも同様の状況を抱えている

目標設定、連帯意識を持たせることが苦慮している

外部で目標設定をしてあげないとやる気がでないのではないかと

何か行事や外部での作品の披露などを行う予定はあるのか

行事の復活、一緒に作り出せて行けたらいい

○卒業生代表 佐藤様

オンライン授業によりコミュニケーション能力が弱くなるのであれば

環境を作ってあげたい

○業界代表 佐藤様

昨年はやむを得ずオンライン授業を実施したかと思うが

今年はオンラインのメリットも理解した上での積極的なオンライン授業
を取り入れていると思う

オンラインで学べることがあっても現場は直接モデル触れることが必要

オンラインの弊害は触れ合うことが弱い

件数が少ないため例年に比べて欲求が高い

学びということに対して欲求不満状態なのではないかと

学びたいという気持ちを現場で生かせるようにしていきたい

5、 ---今後について---

委員会欠席者には議事録、評価結果及び改善方策の用紙を送付、

ZOOM 参加の方には議事録、評価結果及び改善方策の用紙、報酬振込依頼書を送付

6 月末日途に返信をいただく